別紙

令和８年度校区まちづくり交付金　交付決定助言書
【刑部小学校区まちづくり協議会】

〔交付決定にかかる条件〕

※下記に記載の〔交付決定にかかる条件〕については、年度内の活動の中で実践や実施に向けた検討を進めてください。その実績や検討状況については、実績報告書に記載いただき、ご報告ください。

〇チャレンジメニュー②：1-③地域ぐるみの登下校の見守り
・アンケート調査等、防犯意識の向上への効果を検証する手法についてご検討ください。
・犯罪予防対策のための LINE を活用した連絡網等の導入についてご検討ください。

〇チャレンジメニュー③：2-④組織基盤の強化
・町会加入の促進にあたっては、町会加入のメリットを分かりやすく伝える工夫についてご検討ください。たとえば、品川区の町会・自治会の取り組みなども参考にしてください。
https://www.shinagawa-choukaijichikai.jp/document/
・啓発チラシによる周知とあわせて、組織体制の整理や、新規加入者への関係づくり、役割づくり等、人材確保のための取り組みについてご検討ください。

〇チャレンジメニュー④：3-①ホームページやインスタグラムや X など SNS の導入
・現在行っている SNS 発信の若い世代への効果について、適宜、チェック等を行うなど、改善する仕組みについてご検討ください。なお、他地域の SNS 活用については、URL をご参照ください。
https://www.city.sayama.saitama.jp/kurashi/shiminsanka/jitikai/sanko.files/SNS.pdf
・Instagram の運用にあたっては、例えば、投稿計画や投稿頻度、フォロワー数の目標など、年度ごとの目標の設定についてご検討ください。

〇取り組み名称②：防災体制の構築
・防災訓練の参加者へのアンケート実施等により、防災に関する課題や不安点の把握を行う手法についてご検討ください。

〇取り組み名称④：おさかべフェス
〇取り組み名称⑤：おもちつき大会＆音楽会
・ふれあいのあるまちづくりへの効果について、参加者アンケートなどでチェックし、次年度への改善に活かす手法についてご検討ください。その際には、ふれあいのあるまちづくりとは何か、具体的な事項として整理、細分化しご検討ください。（「今後の活動にかかる助言」もあわせてご確認ください。）

〇取り組み名称⑥：青色防犯パトロール
・青色防犯パトロールについて週１回実施されていますが、他の曜日に、防災等の他の取り組みでの車両の活用についてご検討ください

別紙

〇取り組み名称⑦：広報誌の発行
・取り組み内容に記載されている「各種行事への参加者増」について、各イベント開催時に、「何を見て来場したのか」など、参加者に対するアンケートやヒアリング等を随時実施し、効果検証する手法についてご検討ください。

〇取り組み名称⑨：人材確保と組織基盤の強化
・チラシデザインの制作や SNS による発信といった「広報」の手段の検討や実施についてご確認ください。

〔今後の活動にかかる助言〕

※下記に記載の〔今後の活動にかかる助言〕については、まち協活動でご活用ください。こちらの項目については、実績報告の際の実施状況等のご報告は不要です。

「取り組み④：おさかべフェス」、「取り組み⑤：おもちつき大会＆音楽会」でまちづくりへの効果に記載されている「ふれあいのあるまちづくり」への効果検証に関して掘り下げて記載させていただきます。

次に示すものは、住民アンケートで実際に使われる具体的な設問例です。選択肢は主に「そう思う / どちらかといえばそう思う / どちらでもない / あまりそう思わない / そう思わない」の 5 段階（リカート尺度）で設定します。

1. 近所づきあい・コミュニケーション、日常的なつながりの深さを測る設問です。
・近所の人と会ったとき、挨拶だけでなく立ち話をする関係にありますか？
・災害時や困ったときに、互いに助け合える近所の人がいますか？
・地域の子どもや高齢者を見守るなど、声をかけ合う雰囲気がありますか？
2. 地域活動への参加・居場所交流の場へのアクセスや参加実態を測る設問です。
・この 1 年間に、まちづくり協議会ならびに町会・自治会や地域のイベント（お祭り、防災訓練、清掃活動など）に参加しましたか？
・地域の中に、気軽に立ち寄って他の住民と交流できる「居場所（サロンや集会所など)」がありますか？
・地域のボランティア活動やサークル活動に参加してみたいと思いますか？
3. まちへの愛着・定住意向ふれあいの結果として、まちをどう評価しているかを測る設問です。
・あなたは、今住んでいる地域に愛着（親しみや誇り）を持っていますか？
・これからも、現在の地域にずっと住み続けたいと思いますか？
・地域の人々とつながっていることで、暮らしに「安心感」を感じますか？

以上を参考に、ぜひ、「ふれあいのあるまちづくり」について評価考察の実践をご検討ください。

別紙

〇全体を通して

・刑部小学校区まちづくり協議会が、防犯・防災を基盤としながら、「おさかべフェス」や「おもちつき大会＆音楽会」など、大規模な交流事業を通じて幅広い世代のつながりづくりに取り組まれていることが伝わってきました。特に、学生主体による地域活動の創出や ICT 人材の活用、自主財源確保へのチャレンジなど、新しい担い手づくりを意識した事業設計は大きな特徴であり、今後の可能性を感じます。

一方で、魅力的なイベントが多い反面、それぞれが単発で終わらず、継続的な関係人口や担い手育成につながる導線をより明確にできる余地があると感じました。例えば、イベント参加者が次の活動に関われる仕組みや、学生が企画・運営の意思決定にも関わる設計を加えることで、「参加」から「参画」への広がりが期待できます。

・人材確保については町会加入促進だけでなく、短時間・単発でも関われる小さな役割を増やすことで、若い世代や新規住民が関わりやすくなると思われます。SNS 活用についても、イベント告知だけでなく、地域で活動する人や日常の魅力を発信することで、より共感を生み、地域活動への参加促進につながることを期待します。